

NICTにおける自治体との連携

研究室名	テーマ	概要	時期など
時空標準研究室	明石市立天文科学館との交流	<p>日本標準時は協定世界時+9時間として定められ、明石市を通る135度の子午線がこの9時間の時差の基準となっている。明石市は子午線の街として明石市立天文科学館を135度の通る位置に設置して町おこしの一環としている背景がある。</p> <p>そのような経緯から、NICTから明石市立天文科学館へ旧型の原子時計を寄贈するなどの交流があった。</p> <p>2013年11月～2014年3月までNTPリピータ(小型の標準電波送信機)の社会還元実験と称しアンケート調査を同天文科学館で実施し新たな交流が始まった。</p> <p>2014年6月、明石市立天文科学館主催の時の記念日シンポジウム(明石市生涯学習センター 子午線ホール)で細川執行役が招待講演を行い、同天文科学館で募集した原子時計を見る会が未来ICT研究所内日本標準時副局で実施された。</p> <p>同月、坂内理事長が明石市を表敬訪問し泉市長と懇談を行った。</p> <p>2014年7月、未来ICT研究所一般公開では、明石市立天文科学館星の友の会一行が見学を行い、明石市による特別イベントが行われた。</p>	<p>NTPリピータ社会実験: 2013/11～2014/3 時の記念日イベント、理事長明石市表敬訪問: 2014/6 未来ICT研究所一般公開で明石市による特別イベント: 2014/7</p>